



優秀賞

JX JX石油開発



松くい虫による松枯れ発生



松林の中に事業所開設

1956年 事業所開設
 1990年代 松枯れ発生、構内松林再生に着手
 2004年 社員参加の森林保全ボランティア活動開始
 2011年 「JX中条の森づくり活動」開始
 2019年 第9回「JX中条の森」植栽実施
 9年間で11,442本の松を植栽



第1回「JX中条の森」



8年後の第1回「JX中条の森」

林野分野

森林保全ボランティア「JX中条の森づくり活動」

取組概要

1990年代、松くい虫被害により油業所構内の赤松約6,000本のうち約3,500本を失う。1998年より松林再生の取組を開始し、実証経験を積みながら実生松による独自の再生・保全プログラムを確立し、赤松を約20,000本までに復活。2004年より会社グループのボランティア活動として、また、2011年より新潟県・胎内市・地元集落からの協力を得て、海岸保安林再生を対象とした地域密着型の森林保全ボランティア活動を継続中。

受賞理由

松くい虫やカミキリ虫の実態等をゼロから勉強し、実証経験を積みながら、松の伐倒・搬出・枝打ち等により、生育環境作りに取り組み、油業所構内の松林の再生を実現した。また、この経験を活かし、森林再生活動の枠を現業所単位から会社単位、地域共同へと広げ、持続型ボランティア活動として定着させたことが評価された。

取組のポイント

- ・取組開始当時、松くい虫に対して抵抗性が強く、かつ寒冷地用の松の苗木が少ない中、親松から得た実生松（松の幼木）による独自の植栽・生育方法を推し進め、松林再生の道筋を確立したこと。
- ・地道な松の伐倒・搬出・除去、枝打ち、林間清掃を通じ、菌根類との共生を図るなど、松の生育環境作りに関するノウハウを蓄積したこと。
- ・油業所構内の松林の再生ではあるが、2度に亘る松くい虫被害を乗り越え、地元に残したとして、地元住民・自治体からも評価をいただいていること。
- ・油業所構内で始まった森林保全の取組から、次第に活動の人数および範囲の規模を拡大させ、新潟県のご支援を受け、胎内市と地元地域と共に松くい虫被害で荒廃した海岸保安林の松林再生に積極的かつ持続的に取り組んでいること。

受賞者について



受賞者

JX石油開発株式会社 中条油業所
 所長 新粥 岳彦/主任 鈴木 圭子
 胎内市農林水産課 課長 榎本 富夫
 胎内市村松浜財産区管理会 会長 小林 勲
 胎内市中村浜自治会 区長 佐藤 直文
 (有)キーパーズ 島田 久代（松の保護士）

コメント

この度は、栄えある優秀賞を受賞し大変光栄に存じます。1990年代松くい虫の被害を受けた直後から構内松林の保全活動を開始し、再生の道筋を作った先人の着眼に敬意を払うとともに、地域に広げたその活動の輪に賛同してくださった住民の皆さま、そして全てのボランティア活動参加者に感謝の気持ちを贈りたいと存じます。

団体概要

JX石油開発株式会社中条油業所は、1956年の開所以来、新潟県胎内市において天然ガス、原油、ヨードを生産。地域に都市ガス原料を供給し、海外の油田で働く技術者を養成しています。松に囲まれて事業を営む当所は、今後も胎内市、中村浜及び村松浜と連携して、地域の松林の再生保全に貢献する所存です。

問い合わせ先

JX石油開発株式会社 中条油業所総務課
 0254-45-3123
 suzuki.keiko.637@jxgr.com